



高畑 稚一 議員

問

上長尾バイパスの見通し
周辺整備は

答

別メニューで要望
住民と共に有効利用

はどうか。

また上長尾バイパス完成は、JA茶業センターを中心とした地域、地場産業活性化の大きな条件の一つになってくると考えるが周辺の整備・利用計画を今後行っていくのか。

町長 今後は水門移設工事等に費用が掛かるが、堤体の道路を併用するため工事は円滑に進行する予定で、現在県との折衝中である。この事業を進めるため、交通安全事業総合補助制度があり、市街地等において交通安全への対策から地域単位で面的及び集中的に行われる事業について、国が地方公共団体に対し補助する制度がある。

今後はバイパス工事を進めるため町としてもこの地域全体の整備を考えたうえで、それに基づき要望していく。

梅高区民広場の整備は護岸工事完成後、また道路の完成をもって従来の機能が発揮できるよう地



上長尾バイパス

工事開始予定地

問

茶業への町の取り組みは

答

消費拡大と農家支援

インスタクターの中に多くの川根茶ファンの構築を推進し、口コミによる川根茶の消費拡大を図っていく。

グリーンティー・ツーリズムを実施し、産地そのもののファンも増やしていく。21年度お茶の集出荷に対して農協・茶業振興協議会のメンバーと協議をしていく。生産者には消費者の要望に答えられる良質のお茶を作っていくこと、農協に関しては消費拡大を行政と共に考えていく。

川根茶ブランド力の向上には、全国品評会において産地賞受賞の町ということは大変重要なことである。品評会を通して良質のお茶を作るノウハウを学び生かしていくことが茶業振興にも結びついていく。摘採時のお茶摘みさんの確保等、精神的金銭的な面を含めて支援をしていく。

川根茶ブランド力の向上には、全国品評会において産地賞受賞の町とい

区と誠意を持って対応していく。茶業センターを中心とした大きなポイントができるため、産物の提供、イベント等さまざまな取り組みが可能である。個人、団体、経済団体等の意見を取り入れ仕組み作りを行い、民間と町の協働の町づくりのモデルケースにして行きたい。

茶業情勢は厳しくリーフ茶の需要低迷は多

質問 茶業情勢は厳しくリーフ茶の需要低迷は多

質問 茶業情勢は厳しくリーフ茶の需要低迷は多



管理された茶園